

## 事業概要票

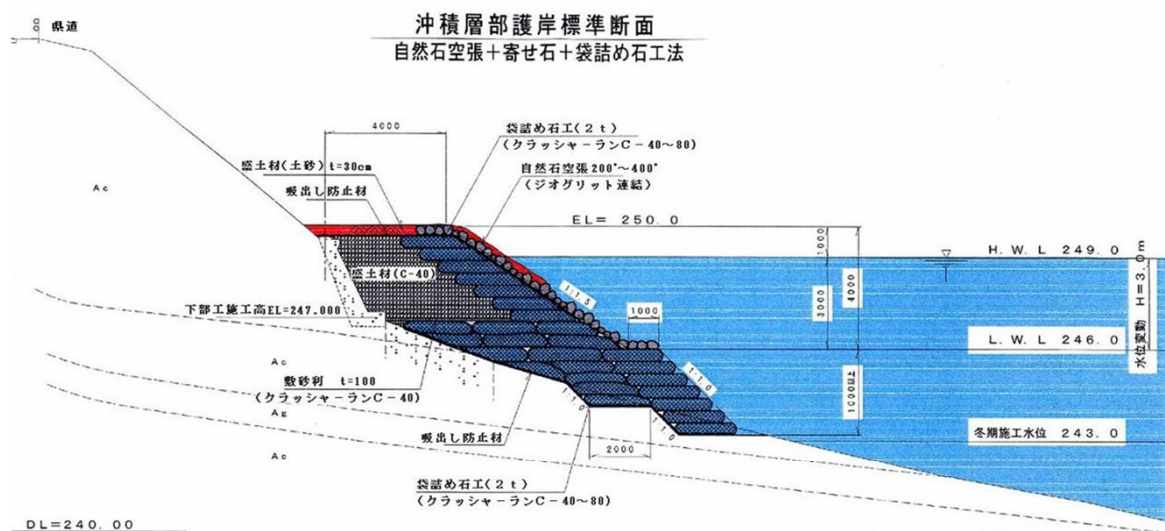
事例NO. 26 (平成17年度発表)

事例キーワード

環境との調和、濁水対策

事業名		広域基幹河川改修事業 桧木内川（田沢湖工区）
事業担当機関		仙北地域振興局 建設部
事業期間		平成13年度 ～ 平成18年度
実施場所		仙北市西木町相内湯～田沢湖春山
事業概要	全体事業費	4,030百万円
	工事概要	護岸工 L＝3,825m
	事業の目的	県内有数の観光地でもある田沢湖では波浪や発電利用のための水位変動により護岸の崩壊が目立つようになり、さらに観光ルートとしても重要な県道などの護岸周辺施設への影響も懸念されることから、河川管理者による護岸対策事業に着手することとした。
環境配慮の内容	1. 学識経験者や地元住民を交えた委員会を開催し、護岸対策工法検討を行った。 2. 県立自然公園の第1,2種特別地域に指定されているため、護岸工は周辺環境に十分配慮した工法とした。 3. 護岸材料は、景観に配慮し、玉川水系産の自然石を使用した。 4. 既存樹木・緑地を修景のため活用し、保全した。 5. 湖面水位の調整を行い、濁水の発生を抑制した。	
施工後の状況	1. 施工前と比べ植生が図られ、周辺環境と調和の取れた景観となっている。 2. 植生には在来種を用いることにより、生態系の保全に努めた。 3. 湖面水位を低下させ施工することにより、濁水の発生を最小限に抑えることが出来た。	

## 図面、写真、説明



## 護岸工法



自然石を使用した護岸



既存の樹木を活用した施工



環境と調和の取れた護岸